

## 2012 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	理工学部	身分	助教
氏名	倉田 賢一		
NAME	KENICHI KURATA		

## 1. 研究課題

(和文) 日本による大陸進出の表象

(英文) Representations of Japan's Advancement to the Continent

## 2. 研究期間

2年間

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本研究の背景としては、当初の研究申請書に示したように、日本人としてイギリス文学を研究するとはどういうことであるか、という問題意識があった。そこで最終的な研究目的としては、日本とイギリスのはざまを生きる小説家であるカズオ・イシグロという存在をどう解釈すべきか、ということと、ポストコロニアル批評における東西のパースペクティブのあいだでのジレンマについて、展望をひらくことを挙げた。

この二年間においては主として、日本側による大陸進出の表象を規定するところの、日本の自己表象についての書籍を購入し、研究を進めさせていただいた。その結果、日本による大陸進出が進行中に支配的であったふたつの主要な潮流である「京都学派」と「新国学」を、区別したうえで適切に位置づけ、それと戦後のいわゆる「日本人論」を関連づけることが課題となっている。これを、ピーター・デイルによる「日本人論」批判を媒介させることで、ポストコロニアリズムにおけるジレンマについての考察につなげたいと考えている。そのうえで、主として会田雄次の『アーロン収容所』を題材として、その表象的バイアスに分析を加えたい。カズオ・イシグロについては、ジャン・ポーランとの比較研究をとおした、一種のポストコロニアリズム批判を準備中である。

(英文)

The objective of this study is to gain a certain perspective regarding what it is for a Japanese individual to study English literature, and its postcolonial implications, through the analysis of representations of Japan's advancement to the continent. The papers I intend to publish are respectively on Yuji Aida and Kazuo Ishiguro.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

<p>【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>(予定) カズオ・イングロ論、『英語英米文学』(査読有、2014・15年度中)</p> <p>.....</p> <p>(予定) 『アロン収容所』論、『人文研紀要』(査読有、2014・15年度中)</p> <p>.....</p>
<p>【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>